



バヌアツ  
八木智司さん(72)  
広島市安佐北区出身

南太平洋に浮かぶ島国バヌアツの首都ポートビラの非政府組織(NGO)にパソコンインストラクターとして2年間派遣された。着任早々、配属先のPCラボで機器を確認すると、基本ソフト(OS)が「ウィンドウズ10」のパソコンが1

台あるだけだった。

それを複数で使うのはもちろん、パソコンにデータが残らない「シンククライアント方式」を採用した機種であることに驚いた。聞けば、ラボにあるサーバーやパソコン、モニター20台な

## パソコン入手から奔走

どの機器はすべて2018年にニュージージーランドから寄付された中古品という。パソコンはログインすれば、サーバー経由で最大7人がそれぞれのモニターを見ながら作業できた。しか



スタッフらと一緒に(右から4人目が筆者)

し、8人目以降はウィンドウズの負荷を考えると難しいことが判明。これでは目標とする同時に10人以上の研究参加者に対応できない。そこで私のノートパソコン(PC)2台とスタッ

私がPCを購入し寄付すること。同僚にサイトを見せながら7万バツ(日本円で約8万5千円)だと説明したが支払い方法の煩雑さなどのため話が前に進まなかった。

それでも、つてを頼って3カ月後、レノボの13インチPCが2台こちらに届いた。その時は本当にうれしかった。2年目になるとラボ環境の抜本的な整備に着手。日本からミニPCを送ってもらおうとしたがバヌアツまでの船便がない。さらに航空便はバッテリー内蔵のPCの積み込みができないという現実に直面した。

満足いくトレーニングの継続に必要なものは? 最初に考えたのが海外の格安通販サイトで、ミニPCに変更。ワード、エクセルなどが使えるお手頃価格のものを、日本にいるPCに詳しい義理の息子に探してもらった。その後、マウス20個、USBキーボード10個、ミニPC22台を航空便で取り寄せ、今では一度に20人でも楽々と練習できるようになった。満足な2年間であった。

そこでバッテリーを内蔵せず、アダプターで電源を取って起動させるタイプのミニPCに変更。ワード、エクセルなどが使えるお手頃価格のものを、日本にいるPCに詳しい義理の息子に探してもらった。その後、マウス20個、USBキーボード10個、ミニPC22台を航空便で取り寄せ、今では一度に20人でも楽々と練習できるようになった。満足な2年間であった。